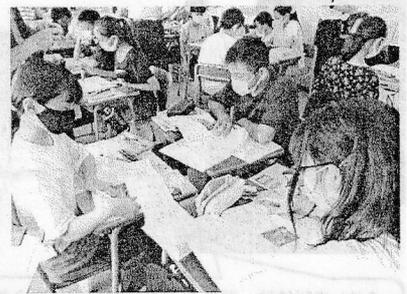


## 実りの秋、成果から次の目標へ

運動場を走り回る子どもたちの頭上には青くすっきりとした秋晴れの空が広がっています。まん延防止等重点措置が解除され、制限だらけの学校生活も少し活動の幅が広がっています。けれど、コロナウイルスは消えてなくなったわけではなく、第6波の到来も遠くないと言われています。ここで気持ちを緩めることなく、感染症対策の徹底は継続しつつ、できるだけ普段通りの安全で楽しい学校生活を送ることができるようにしなくてはと考えています。

さて、秋たけなわの10月、「実りの秋」を迎えました。「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」etc. いろいろな秋の表現がありますが、子どもたちにとって学年の折り返しである10月は、4月から頑張ってきたことが一定の形になって見えてくる時期でもあります。4月にそれぞれ進級し、子どもたちは各自の目標をもって半年間努力を重ねてきました。学習面では、それぞれの学年で身につけるべき知識や技能の定着だけでなく、ものの見方や考え方も育ちつつあります。生活面では、年齢に応じた友達との関わり方を経験を通して学んできています。学校という集団生活の場での行動の仕方も年齢に合わせて進化してきています。その一つ一つが子どもたちにとってはまさに「実り」なのです。今週末にはスポーツフェスティバルを控え、学校行事もできる範囲で形を工夫しながら実施していきます。行事への取組の中でも子どもたちは「実り」の姿を見せてくれることでしょうか。学校生活の様々な場面で子どもたちがそれぞれの「実りの秋」を実感してほしいと願っています。そして、「実がなる」と必ずその中に種ができます。そもそも「実」は「種」が次に命をつないで育っていくための栄養となるものです。子どもたちも同じで、「実」の中には次につながる「種」が必ず入っています。自分なりの努力の成果という「実」を实らせ、その中に次の目標となる「種」を見つけて、学年の後半へと向かってくれたらと思います。やがてその種は実の栄養をたっぷり吸収し、新たな芽を伸ばしていくことでしょうか。

長かった残暑もようやく落ち着き、勉強に運動に子どもたちが全力で取り組める良い気候になりました。御野っ子たちの実りの秋、その笑顔がさらに輝きますように。



6年国語の授業、読み取ったことを真剣に話し合い

## 陸上記録会、頑張りました！



10月6日、5・6年生の児童全員が参加して「北区1陸上運動記録会」が御野小で開催されました。本来なら岡山中央小、牧石小の児童も参加して合同で行われる記録会ですが、今年もコロナの影響で学校ごとの単独開催となりました。50m走、60mハードル、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳びの5種目から選んで、全力で記録に挑みました。



先生チームの走りはさすが、でも、6年選抜の方が…



全力疾走、見学席からは大きな拍手が

やや緊張した面持ちの子もいましたが、力を出し切った表情はとても清々しいものでした。岡山市の標準記録を突破した児童は、10月30日に行われる岡山市の記録会に出場できます。でも、記録の良しあしではなく、それぞれ自分のもてる力の精一杯を出し切ることに大きな意義のある記録会でした。最後には6年生選抜チーム対先生選抜チームのリレーもあり、大いに盛り上がりしました。